

1 公立高等学校

(1) 県立山形東高等学校生徒会

スローガン 「ひとりじゃない、ひとりにさせない」

決して自分1人だけで生きている人などいません。必ず他の誰かの支えで生きています。そのことを忘れずに自分を大切にしていきましょう。

あなたの周りに、1人で苦しんでいるひとはいませんか？手を差し伸べて1人にさせない勇気が要るかもしれませんが必ずできます。

いじめ・非行をなくすため、周りの人を悲しませないためにこのスローガンを設定しました。

(2) 県立山形南高等学校生徒会

スローガン 「差しだそう 友を助ける 勇気の手」

5月25日に行われた生徒総会において、執行部より趣旨説明がなされ、「友を大切にする自分を大切に」のテーマで全校生徒を対象に募集を呼びかけた。

今年度も引き続き、生徒会活動方針の中に「いじめのない、非行のない学校環境作り」を掲げており、昨年度と同じスローガンのもと、執行部のみならず各クラスで互いに支え合う姿勢を構築することが、確認された。

(3) 県立山形西高等学校校友会

スローガン 「さ・し・み」

いじめを「させない」・「しない」・「みのがさない」の頭文字をとって「さ・し・み」としました。シンプルに覚えやすく、いじめ防止に大切な言葉と思い、このスローガンを決めました。全校生に覚えてもらい、日々いじめ防止のために使って行きたいと考えています。

(4) 県立山形北高等学校生徒会

スローガン 「Tease ～その言葉、本当に人を傷つけていませんか？～」

このスローガンは、一昨年、いじめ問題について北高全体として関心を持ち活動していきたいと考えた時、全校生にスローガンを募集して決定しました。「いじめ」という言葉を表面に出すことなく、英単語の「Tease」にすることで、3年目の今年も、これまでの行い、これからの行いについて、各人一人ひとりが考えるきっかけにしてほしいという願いを込め、このスローガンを継続します。

(5) 県立山形工業高等学校生徒会

スローガン 「S・N・S S さあ N なくそう S そのいじめ」

生徒会活動の一環として、いじめ撲滅プロジェクトを立ち上げ、全校生徒向けスローガンを募集した。それらを基に生徒会執行部にて候補の中から一点を選出し学校スローガンに制定した。SNSやインターネットを使いたいじめは、その行為自体が表に見えず、問題点が多いと考えた。本校ではSNSを利用したいじめも撲滅し、皆が楽しい学校生活を送るための環境作りに取り組んでいきたい。今後はポスターの製作やポスター募集を継続的に行い、いじめ撲滅の啓発活動を行っていききたい。

（６）県立山形中央高等学校生徒会

スローガン 「理解しよう 私とあなたの 個性や違い」

前期生徒総会において、「お互いを理解し合える人間関係作り」「充実した学校生活」という２つのテーマに基づいて、学校全体で取り組んでいくことを提案しました。承認を得て、全校生がスローガン作成に取り組み、その中から生徒会執行部が上記のスローガンを採択しました。平易簡明で直截的な表現であり生徒たちの心に訴えかける効果が期待されるという理由からです。今後は、後期生徒総会でスローガン制定の承認を得て、生徒会執行部が中心となってポスター作成や校内放送を行い、周知徹底を推し進めていく予定です。

（７）県立霞城学園高等学校ⅠⅡⅢ部生徒会（定時制）

スローガン 「誰かにとって過ごしやすい環境は誰かにとって過ごしにくい」

いじめは、からかいやいたずらなどのごく軽い気持ちから始まりますが、それが積み重なれば被害者にとっては生きていくことさえつらい状況に追い込まれます。この気持ちをより多くの人に知ってもらうためこのスローガンを考えました。決定に際し、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ部の各生徒会合同で意見を出し合いました。今後、学校全体でSHRや校内での呼びかけを行っていきます。

（８）県立上山明新館高等学校生徒会

スローガン 「NO いじめ HAPPYLIFE」

このスローガンは、いじめが無くなることでどのように生活が変わるかと言うことを考えて決定しました。いじめが無くなる事で幸せになる人は沢山いると思うので、今後私達の学校でもいじめが無くなるように、周りの人に声をかけたり気づかっていったりしてすがすがしい学校生活を送りたいと思います。

（９）県立天童高等学校生徒会

スローガン 「守ろうよ みんなの明日と その笑顔」

今年度の生徒会スローガン「喜色満面」のもと、天高生が勉強にも部活にも真剣に取り組め友達と楽しく過ごせる毎日と、一人ひとりの笑顔を守っていくという思いが込められています。相手を思いやる気持ちを常に持ち、お互いを尊重することや、あいさつ日本一を掲げる学校として、あいさつの輪をより一層広げていくことで、学校、地域の結びつきを強めていきます。そして笑顔あふれる天高を更に活気づけていきます。

（10）県立山辺高等学校生徒会

スローガン 「大丈夫？ その一言が笑顔を増やす」

各クラスで「いじめ」について話し合いをもち、スローガンを考えた。その後、生徒会執行部とHR委員で話し合いを持ち、４つのスローガンを選考した。さらに、４案を生徒総会で協議し、決定した。

このスローガンには、知らない振りをせず関わることで笑顔に繋げたいという願いが込められている。

(11) 県立寒河江高等学校生徒会

スローガン 「1のいじめ100の悲しみ 1の勇気100の笑顔」

1つのいじめが起これば、受けている本人が悲しみ、その友達、家族といったつながりのある人たちも悲しむ。しかし、いじめられていることを主張する勇気があれば、その思いは他の生徒にも届き、いじめている生徒は自分がやっていることが愚かであると気付いて考えを改めるのではないか。そうすることで、周りの人の笑顔が広がっていく。

一人ひとり、いじめの愚かさを理解し、言い出す勇気を持って、いじめのない寒河江高校を創れるよう、全校生徒が協力していく。

(12) 県立寒河江工業高等学校生徒会

スローガン 「しない させない ゆるさない」

いじめは人を傷つける行為であり、自分がしたり、他人がしているのを許してはいけないものと考え、このスローガンにしました。学校の中だけではなく、社会へ出ても問題化されることなので、いじめ・非行を「しない させない ゆるさない」というスローガンで活動していこうと思います。また、いじめを見ぬフリですまさぬよう呼びかけをしていきます。

(13) 県立谷地高等学校生徒会

スローガン 「おふざけは一線越えたらいじめ道」

軽い気持ちで行った行動や言動で相手を傷つけ「いじめ」を受けたと思われてしまう事がある。そんなことを防ぐためのスローガンである。



(14) 県立左沢高等学校生徒会

スローガン 「真 ～信じた道をゆく～」

メインタイトルである「真」には、まごころという意味があります。サブタイトルの「信じた道をゆく」には、人との関わりの中、友達としての仲間意識を深めてほしいという意味を込めました。

本校生徒会では、このスローガンをもとに、いじめ撲滅に向けて積極的に活動して行きます。

(15) 県立村山産業高等学校生徒会

スローガン 「私たちは、どんな微弱なSOS電波も見逃さない！」

いじめを受けている側の気持ちを考えると「いじめられている」という気持ちは認めたくない事実であり、自分の中で何とか解決してしまおうと頑張ってしまうがちになる。

きっと「助けて…」の声は弱々しく、周りの人には伝わりにくいものなのかもしれない。私たちはそんな小さなSOSを逃さずキャッチして、いじめをなくしていきたい。

(16) 県立東桜学館高等学校生徒会

スローガン 「明るい挨拶、思いやりの言葉があふれるクラス作り」

本校ではいじめがない明るい人間関係を築くために、各クラスで「思いやりの芽を育てる全校アクションプラン」を策定し、生徒総会で発表しています。このスローガンは各クラスで多く出されたアイデアをまとめたものです。

(17) 県立北村山高等学校保健委員会

スローガン 「『考動』 ～自分をコントロールできる脳を持とう～」

保健委員会が行ったいじめに関するアンケート調査で、本校生は多くの悩みを抱えていることが分かった。解決に向けた調べ学習を行う中で、脳の中にある扁桃核が傷つくことにより人間関係の悪化が起こることが分かってきた。「考動」は一昨年のスローガンでもあり、スマホなどの依存性からの問題だけでなく、実際に脳や体に影響があることを知り、対処について学ぶことで、考動につながると感じ、このスローガンに決定した。

(18) 県立新庄北高等学校生徒会

スローガン 「誰もいない ときこそ見える 人の性」

このスローガンは、いじめ・非行にとらわれず、普段の生活の中でも活かしていけるものです。また、人として、新北生としてあるべき姿を理想としています。人間は、誰も見ていない時にこそ本当の姿が現れます。だからこそ人目の無い時にいじめや非行に走るのではなく、弱いものに手を差し伸べる姿勢で生活していくことを訴えかけていきたいです。

(19) 県立新庄北高等学校定時制生徒会

スローガン 「にこにこ はきはき ありがとう 笑顔でいこう 新北定」

5年前から「学生・社会人として身につけたいマナー」についての講話を行っています。その中で、講師の先生が繰り返しお話しされた3つの言葉をスローガンにいれました。全校生徒11名がよりよい人間関係をつくるために笑顔、言葉づかい、感謝を意識して行動することを心掛けています。地域の方々との交流を目的とした「たこやきボランティア」においてもこの言葉が大切であることを実感しています。今後は、ビッグウイングで行われる南東北総体のカウントダウンイベントに向け活動していく予定です。

(20) 県立新庄北高等学校最上校生徒会

スローガン 「自分がされたらどう思う 考えよう相手の気持ち そこからつながる心の輪」

最上校でいじめに近いことがありました。なぜ、そのようなことが起きるか考えた時に相手の気持ちを考えていないから起きてしまうのだと思いました。

最上校では二度といじめが起きないように全校生徒にこのスローガンを伝えていきたいと思います。



(21) 県立新庄南高等学校生徒会

スローガン 「いじめゼロ みんなで守ろう 笑顔の輪」

いじめはほんの小さなことから少しずつ伝染し、取り返しのつかない大きないじめに発展します。同じように少しずつ広がっていくものとして笑顔があります。「いじめ」ではなく、「笑顔」を広げていけば、自然とみんなで周りの人たちを守ることにつながります。新南生全員が笑顔の輪を広めていき、いじめをゼロにします。活動として生徒総会などで呼び掛けるほか、ポスターの作成を考えています。

(22) 県立新庄南高等学校金山校生徒会

スローガン 「あいさつ 感謝 学び合い 部活動に行事に生き生きと」

当校は町内唯一の中学校からの進学者が圧倒的多数を占めるが、他校からの進学者も快く受け入れ、打ちとけやすい雰囲気を作ってきた。その校風を引き継ぎ、いじめとは無縁の学校を構築することを目的に、生徒会執行部及び風紀委員会が中心となって文言を作成し、生徒会集会での呼びかけやポスターを作成、掲示することでいじめの未然防止を図っている。

(23) 県立新庄神室産業高等学校生徒会

スローガン 「広げよう笑顔あふれる絆の和」

いじめや非行をなくすためには、学校全体の雰囲気を良くしなくてはなりません。そのためにまず笑顔で楽しい学校生活が必要と考えます。次に絆についてです。人と人とのつながりがあれば、全体がまとまり大きな輪になります。笑顔があれば、自然と絆が深まっていくと思います。

今後の活動としては、行事や企画を通して呼びかけを行い、これらの考えを広く深めていくようにしたいです。

(24) 県立新庄神室産業高等学校真室川校生徒会

スローガン 「『地域を愛し 地域に生きる』真校に いじめは似合わない」

高校生活3年間をよい社会人になるための訓練期間と定め、主体的にキャリア教育に取り組んでいる真校。生徒会では「地域を愛し、地域に生きる」をメインスローガンに掲げ、年3回の全校ボランティアや花いっぱい運動、真室川祭り踊りパレードへの全員参加を続けています。また、校外でのあいさつ運動にも毎日全校挙げて取り組んでいます。

そんな真校に「いじめ」は全く似合いません。

「いじめ」がある学校は地域を愛したり、地域に生きたりできません。真校全員でいじめの撲滅を誓い合いましょう。

(25) 県立米沢興譲館高等学校生徒自治会

スローガン 「いじめは しない させない 見逃さない！ ～興譲の精神～」

生徒自治会執行部が学校いじめ防止基本方針を受け、4月に議案書の第3号議案として作成し、その後の各クラスでの議案書審議を経て、今年度も5月2日に行われた代議員会において承認された。

本校の「興譲の精神」をもとに、いじめに対する興譲館生としての態度を表すスローガンとして最もシンプルでわかりやすいものであるという理由により作成された。

第三号議案

・自治会によるいじめ撲滅宣言について

興譲館高校では、平成26年度から、いじめ撲滅宣言を代議員会で可決し、

「いじめ しない させない 見逃さない! ～興譲の精神～」

のスローガンのもと、いじめを防ぎ興譲館生一人ひとりが安心して生活できるように活動を行っています。興譲の精神にのっとり、常に相手への思いやりを持って生活していくではありませんか。ここでは、いじめ撲滅宣言の意義と、活動継続の再確認をします。私たちが、この活動についてしっかり関心をもち、自分の胸に燃えて生活していきましょう。

具体的な活動

・いじめ意見箱設置について

いじめ撲滅の一環として、いじめに関する意見箱を自治会掲示板に設置します。校内でのいじめに関するものであれば、どんなことでも構いません。お気軽に意見をお寄せください。記入必須事項として学年と性別のみ記入していただきます。プライバシーは絶対に配慮です。安心して投書してください。

(26) 県立米沢東高等学校生徒会

スローガン 「守りたい あなたの笑顔と その心」

5月の生徒総会で全校生にスローガン作成の呼びかけをし、評議委員会（学級委員長）を経て候補作を4点選考しました。全校投票（6月中旬）の結果、上記に決定。各クラスにはプリントで通知し、今後、生徒玄関に掲示する予定です。

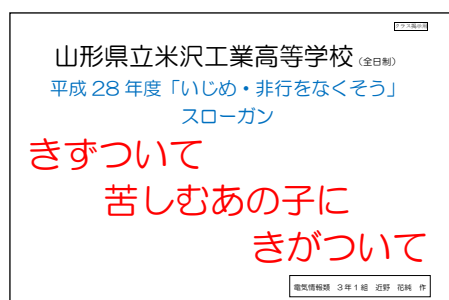
8月末の文化祭終了後に再度評議委員会を開催し、学校・学年・クラス単位で具体的な対応策をグループワーク等で話し合い、全校生徒に還元できる方策を模索していく予定です。

(27) 県立米沢工業高等学校全日制生徒会

スローガン 「きずついて 苦しむあの子に きがついて」

学校全体の取り組みにしたいと考え、全校生にスローガンを募集しました。その中から生徒会役員が選考し、今年度のスローガンが決定しました。

今後の活動としましては、スローガンをクラスや生徒昇降口に掲示して「いじめ・非行」の撲滅を図りたいと考えています。また、いじめ調査アンケートや全職員での生徒個人面談を実施していきます。

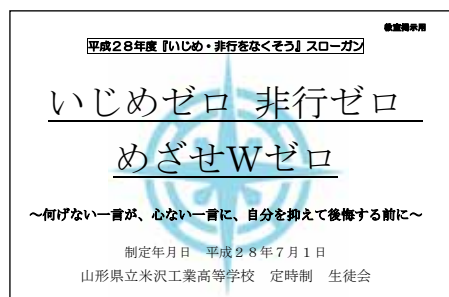


(28) 県立米沢工業高等学校定時制生徒会

スローガン 「いじめゼロ 非行ゼロ めざせWゼロ
～何げない一言が、心無い一言に、
自分を抑えて後悔する前に～」

定時制全校生徒にスローガンの募集を行った。その中から候補を3つ選定し、それぞれの良い部分を合作し決定した。

些細な冗談や言葉でも、いじめは他の人の心に傷をつけてしまう。自分の言動や行動をよく考えてから行っていくことが大切であることを再認識させるため、ポスター作成・掲示を行い、啓発活動をしていく。



(29) 県立米沢商業高等学校生徒会

スローガン 「なくそういじめ ふやそう笑顔」

全校生徒が毎日、学校に来るのが楽しみになるような雰囲気を作りたいという思いから、このスローガンを考えました。いじめが起きないようにすれば、学校生活が楽しくなることにもつながる。学校生活が楽しくれば、私達生徒の笑顔が増えることにもつながる。そんな思いをスローガンに込めました。いじめがなくなり、笑顔を増やすことによって、学校や生徒の雰囲気が明るくなるように生徒会が主体となって活動していきたいと思います。

(30) 県立置賜農業高等学校生徒会

スローガン **「個性があって あたりまえ とめようよ とめればふえる 笑顔の花」**

このスローガンを定着させるべく、昨年から引き続き使用することになりました。いじめ防止のため、互いを認め合う人間関係をどのように築くかをテーマに全校アンケートを行いました。その結果をもとに生徒会で話し合いを行ったところ、人はお互いに個性や違いがあり、相手を理解しようと努力していくことが大切なのだという意見が出ました。さらには、それを行動に移していく必要があります。個人がいじめ・非行をなくそうと意識を高め、自覚を持ってもらうことに重点をおきます。また生徒会会誌でいじめを取り扱い、生徒一人ひとりが常に意識して行動できるようにしていきたいと思います。

(31) 県立南陽高等学校生徒会

スローガン **「聞こえますか？心の叫び。見直そう相手に対するその言動。」**

平成28年度も同じスローガンでいじめ撲滅に向けて取り組んでいくことになりました。今年度も9月のLHRで、「いじめに関するクラス討議」を実施する予定です。

今年度で3回目の実施となりますが、SNSで起こっている問題点などを事例として挙げ、一人ひとりにいじめについて考える機会を持ちたいと思います。

(32) 県立高畠高等学校生徒会

スローガン **「た…他人の気持ちを
か…考えて
は…始まる
た…楽しい日々」**

いじめは絶対に許さない学校にしようというコンセプトで生徒会執行部が主導し、各HRクラスでスローガンを考えました。クラスの仲間が安心して毎日を過ごしていくためにはどんな配慮が必要なのかを、HR活動の時間を利用して、話し合いを行いました。有言実行できるように一人ひとりが意識し、チーム「高畠」をより強固なものにしていきます。

(33) 県立長井高等学校生徒会

スローガン **「温厚篤実」**

多様な価値観を認め合うために、自分とは違う考え方を受け入れ、共に生きる方法をいかに身につけていくか、そしてそれを実現するための人間関係をどのように構築するかという観点で作成した。人を思いやる温かい気持ちが生活の根底にあれば、その行為もおのずと善悪をきちんと見極めた、望ましいものになっていくはずだという願いを込めて、わかりやすい四字熟語をあえて選んだ。

(34) 県立長井工業高等学校生徒会

スローガン **「①『無くそうイジメ 増やそう仲間!!』
②『いじめをなくし 一人ひとりが思いやりのある心を持とう』」**

平成26年度制定したものを今年度も継続する。生徒昇降口および教室内への掲示の他、生徒会行事や始業式等で生徒会執行部が呼びかけを行う。①は、いじめを無くすだけでなく仲間も増やしていこうという思いをこめたものである。②は、みんながいじめをなくそうと努力し、誰もが楽しく明るい生活になるよう願っている。

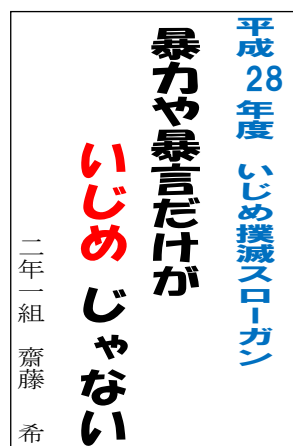
なお、今年度生徒会において新たに作成予定です。

(35) 県立荒砥高等学校生徒会

スローガン 「暴力や暴言だけが いじめじゃない」

生徒総会で、生徒会長が「いじめのない学校づくり」を呼びかけ、互いを尊重し認め合う運動（リスペクト運動）を継続している。併せて、毎年、全生徒にスローガンを募り、生徒会執行部が選出している。

今回は、表面化しやすい「暴力・暴言」よりも心にダメージを与える、自己の存在を否定するような行為（無視・嫌がらせ等）についても許さない学校にしていこうという意味をこめて、このスローガンとした。



(36) 県立小国高等学校生徒会

スローガン 「『あたたかい ことばのシャワーで笑顔の輪』
『つながろう ネットでなくて 人の絆で』
『優しさという名の花を 咲かせよう』」

今年7月、本校生徒会でいじめ撲滅のためのスローガンを全校生に募集し、標記のテーマを策定した。策定理由は、生徒間で自分達の長所・短所を認め合う雰囲気を醸成し、いじめの未然防止の意識を喚起しうると考えたためである。

2学期に入ってから、標語をポスター掲示し、いじめの抑止・撲滅の意識を喚起していく。2・3年ほど前から、生徒達自身の学校生活に対する満足度や帰属意識の高まりがあり、いじめはないという生徒達自身の意識はある。しかし、抑止という観点から、8月～9月にかけて、いじめ防止に関するグループ討議を行う予定である。

(37) 県立鶴岡南高等学校生徒会

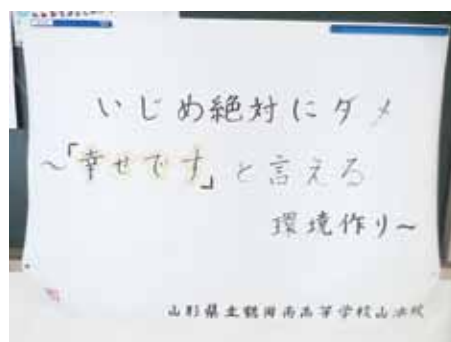
スローガン 「非行から手をひこう」

スローガンというものは覚えやすく意味が理解しやすいという事が重要だと考えており、このスローガンにもその考えを反映しました。韻を踏む、またはダジャレという技法は非常に文章をキャッチーにする効果があるため、このスローガンも非常にわかりやすくなったと思います。

(38) 県立鶴岡南高等学校山添校生徒会

スローガン 「いじめ絶対にダメ
～『幸せです』と言える環境作り～」

改めて新しいスローガンを立てず、一昨年度から活動をしてきたシンプルでわかりやすいスローガンとサブタイトルを継承した。例年通り、ポスター・放送による呼びかけやいじめアンケートによる確認で、全校生徒が「幸せです」と胸を張って言える環境・雰囲気作りを進めていく。



(39) 県立鶴岡北高等学校生徒会

スローガン 「やめれっちゃ 見ねふりすんなも いじめだろ」

私たちが学校生活を送るなかで、いじめを身近に感じることは少ないですが、知らぬ間に他人を傷つけたり、傷ついている人がいるのに気付かなかったりしていることもあるかもしれません。そのことを生徒一人ひとりが常に意識して心において行動しなければなりません。そして、もしそのような場面に出会ったときには、見て見ぬふりをすることがないようにみんなで思いやりや気遣いを忘れずに過ごしたいという思いでこれまでに引き続き、印象に残りやすい方言を使ったこのスローガンを掲げました。

生徒会理事会が中心になって呼びかけなどを行い、気遣いが出来、高め合う良い人間関係を築き、北高生一人ひとりがいきいきとして充実した高校生活が送れるようにしたいと思います。

(40) 県立鶴岡工業高等学校全日制生徒会

スローガン 「考えたことありますか？相手の気持ち」

『自分の言動が相手を傷つけているかもしれない…』といった観点を持ち、相手の立場になって自分の言動をあらためて見直すことが、いじめや非行防止につながると考え、生徒会理事が中心となってこのスローガンを考えた。このスローガンのポスターを作成し、各教室に掲示することで学校全体にいじめ・非行防止を呼び掛けた。



(41) 県立鶴岡工業高等学校定時制生徒会

スローガン 「相手の気持ちを考えて」

少人数であるため、いつもお互いの顔や表情が、よくわかる。気持ちよく学校生活を送るために、あいさつ、会話でコミュニケーションをとれるよう心がけている。そして相手の気持ちや感情を考え、話したり受け止めることも必要である。

今後は、ポスターの掲示といじめをなくするよう呼びかける活動を行っていく。



(42) 県立鶴岡中央高等学校生徒会

スローガン 「やめろって、それ よくないぜ」

友達に注意をされているイメージでこのスローガンに設定した。仲の良い友達に諭されると、より悪いことをしたと言う意識になると考え、今までとは違った方向で生徒会執行部で検討した。前期生徒総会でSNSの使い方について注意喚起し生徒側から働きかけ、後期生徒総会でこのスローガンについて提案し、さらにポスター掲示等でより働きかけたい。

(43) 県立加茂水産高等学校生徒会

スローガン 「いじめとは 無縁のはずだ シーマンシップ」

シーマンシップとは、以下のようなことである。

1. 先天性…起こりうる事態や状況を予測してそのことに対する能力、集中力
2. 確実性…海上での行動の確実性欠如は事故の要因となる
3. 迅速性…制約された環境の中で、速やかに効率よく行動する
4. 節度…礼儀正しさ、対人に対する思いやり
5. 質実剛健…厳しい環境対応のため、日頃から簡素な生活と強健な体力を保持
6. 冒険心…実行力・勇気・忍耐力

(44) 県立庄内農業高等学校生徒会

スローガン 「NO MORE いじめ」

短く、わかりやすい言葉を心掛けた。今後は生徒会で美術部に依頼し作成してもらったポスターで目に見える呼びかけをし、朝のあいさつ運動で声の掛け合いをしていく。その他、意見箱の利用により一人ひとりが常日頃から安心安全な学校生活をおくれているかをチェックして生徒会便りに反映させていく。

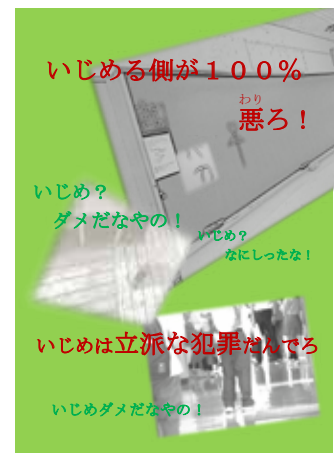
また、放課後のクリーン作戦で校内外の汚れや乱れ、破損個所をいち早くチェックし環境整備からいじめの実態がないか確認を行う。



(45) 県立庄内総合高等学校生徒会

スローガン 『いじめ？なにだったな』
『いじめ？ダメだなやの』
『いじめる側が100%わりろ』
『いじめは立派な犯罪だんでろ』

今年度は新たに生徒会執行部が中心となってスローガンを作成した。いじめを目撃した生徒たちが止めている場面を想定している。最初は標準語、関西弁の会話スタイルのものだったが、地元の庄内弁を入れ、インパクトのあるものにした。美術部からも協力を得てポスターを作成、HR教室を始め校舎内に掲示する。新入生も含めてのさらなる啓発を図り、いじめを自分たちが絶対起こさない、絶対許さない、今まで経験のある人たちもそれを絶対繰り返さないという意味を浸透させていきたい。



(46) 県立酒田東高等学校生徒会

スローガン 「目をつぶる前に、手をさしのべて」

昨年度に引き続き、「いじめを見逃さない」という意味の「目をつぶる前に」という言葉を使うことにしました。いじめや非行の問題行動が比較的少ない酒田東高校ですが、問題が起きたら見逃さない姿勢で活動していきます。5月の前期生徒総会において、全校生徒の前でスローガンを発表し、今後もいじめ・非行の防止に対する意識を高めていきます。

(47) 県立酒田西高等学校生徒会

スローガン 「つくろうよ 笑顔あふれる みんなの居場所」

全校生徒より募集しました。生徒指導課でクラス代表を選定し、最終的には執行部を中心として決定していきました。

今後、大きめのポスターを作成し校内に掲示したり、いじめアンケートや保護者へのアンケート結果報告プリントに記載したり活用していきたいと考えております。

(48) 県立酒田西高等学校定時制生徒会

スローガン 『断ち切ろう 終わることなき いじめの輪』
『軽い気で いじめた側は 重い罪』

全校生徒に趣旨目的を説明し、スローガンを募集した。全校生徒の作品の中から生徒会執行部が審査し、代表作品を選んだ（今年度は同票で2作品）。生徒会執行部が、全校生徒にこのスローガンを周知理解してもらうために発表した。また選ばれたスローガンを校舎内に掲示した。

(49) 県立酒田光陵高等学校生徒会

スローガン 「救いの手 待ってる誰かが 今日もいる」

校内全クラスよりいじめ・非行防止、根絶というテーマに沿って、話し合ってもらいました。その後全作品を生徒会執行部で検討し、自校に相応しいスローガンを決定いたしました。自分だけでなく、相手のことを考えて生活を送ろうという願いが込められています。スローガンは各HRに掲示すると共に、全校生徒に呼びかけなどを行って、いじめ・非行“0”を目指します。

(50) 県立遊佐高等学校生徒会

スローガン 「STOP!!いじめ！ 僕らの未来 あったかいんだからあ
はこ（スマホ）のなか つるぎの言葉（悪口） 目にささる（1年）、
立ち止まって 見てみよう 相手の心の表情を（2年）、
踏み出そう『友』を助けるその一歩（3年）」

遊佐高校は少人数なので、みんなが楽しく毎日元気に登校できる学校にしたい、と生徒会執行部で話し合った。そのためにも、いじめのような問題があってはいけない、ということで、執行部がまず全体スローガンを考え、生徒総会でいじめ防止を呼びかけた。その後、各クラスのスローガンも作成し、美術部の協力のもとポスターを描いてもらった。今後は、このポスターを校内に掲示、呼びかけを行っていく。（継続）

(51) 山形市立商業高等学校生徒会

スローガン 「言えていますか？ おはようの愛言葉」

いじめや非行を無くすためには、一人ひとりが自分と見つめ合うことが大切だと思います。また、スローガンはみんなにわかりやすく実行しやすい方が効果的だと考えました。「言えていますか？」と最初に問いかけることで、自分はどうかとを考えてもらい、「おはようの愛言葉」で誰にでもできるあいさつでいじめや非行をなくしていこうと考えました。「合言葉」は相手がいてこそ成立する言葉なので、そこに愛を持ってほしいと思い「愛言葉」にしました。

2 私立高等学校

(1) 学校法人富澤学園 山形城北高等学校生徒会

スローガン **「辛+1=幸 強い心と勇気の結晶」**

学校は、生徒の誰もが楽しく安心して過ごせる場所ではなくはありません。しかし、中には辛く安心して過ごすことができていない人がいるかもしれません。生徒が当たり前安心して生活することを幸せとして、このスローガンをもとに三つの誓いを立て、行動していこうと生徒総会時に全校生徒で確認しています。

(2) 学校法人山形学院 山形学院高等学校柏葉会

スローガン **「『言刃』から『言葉』にチェンジ ～奪わないで友達の未来を～」**

毎日交わされる会話の中で話す何気ない一言が、知らぬ間に相手を傷つけてしまうことがあります。言葉で傷つく人を無くすためにも言葉を大切にしていこうという思いで考えました。

口から発するものが人を傷つける刃となる「言刃（ことば）」ではなく、心のある「言葉」にしていきたいと考えています。

まずは心あるコミュニケーションのスタートとなるあいさつが飛び交う学校を目指し、生徒会を中心としたあいさつ運動から始めています。

(3) 日本大学山形高等学校生徒会

スローガン **「優しさは人と人とを繋ぐ橋」**

生徒会の新役員が決定し、役員からしっかりと「いじめ撲滅」に向けての活動を行っていくべく、設定した。今後、生徒会新聞等で校内に向けての広報活動を行っていく。なお、このスローガンはここから一年間使用する予定である。

(4) 学校法人明正学園 山形明正高等学校生徒会

スローガン **「明正人たれ」**

創立50周年を迎え校名変更し大きな転換期となった年、生徒会として新たなスローガンを掲げ継承してきた。明正高生は、「明」るくあいさつができる人、「正」しい行いができる人、「人」のために行動できる人を目指す。一人ひとりが成長し、いじめ、非行がない学校を目指している。

(5) 学校法人山本学園 山本学園高等学校生徒会

スローガン **「One more step ～一步先をかんがえる～」**

刹那的行動をとらず、結果の見通しを考えて行動し、いじめゼロを目指す。

そのために、アンケート調査、各委員会の取り組み、先生方との連携を強化し、安心して通える学校づくりをする。

(6) 東海大学山形高等学校生徒会

スローガン **「Action…普通じゃだめ！いじめ撲滅！」**

いじめの撲滅を目標に、生活委員が中心となり生徒会がバックアップして、全校生徒に呼びかけました。また、年に2回のいじめアンケートに対しても、真剣に向き合って解答するよう、各クラス内で話し合うよう呼びかけました。

(7) 学校法人 九里学園高等学校生徒会

スローガン **「そのシグナルを見逃すな！ 仲間の助けを 求めてる
先生 生活環境 整えて!!」**

昨今の言葉にならない「いじめ・非行」をどのように防ぐことができるか正直わかりません。

何か異変があれば、生徒は先生に報告すべき、(学校)先生は素早い対応が必要。

しかし、学校(先生)と生徒の間に信頼関係がなければ、防止・対応・改善などありません。

学校に限らず、大人がもっと若者に関心(注意を注ぐ)をもつことも大事です。若者を怖がっているのは、「いじめ・非行」はなくなりません。

文言は稚拙ではありますが、考える時間は有意義でありました。

(8) 米沢中央高等学校生徒会

スローガン **「いじめをなくそう」**

生徒会役員研修で、いじめについて話し合いを行い、決定しました。今後の活動については、「明るいあいさつ運動」を行っており、あいさつを交わすことにより、心のふれあいを大切にしたい思いからです。

(9) 学校法人齋藤学園 鶴岡東高等学校生徒会

スローガン **「思いやりの種を蒔こう —734の笑顔咲き誇る明日のために」**

思いやりとは相手の気持ちを考えること。生徒一人ひとりが「思いやり」を意識することで全校生徒734名が笑顔で学校生活を送れると信じて、今年度の生徒会活動の1つに掲げ生徒総会で可決決定しました。他者を思いやる心はいじめに関わらず、社会で生きていく上で必要不可欠なことです。校内リーダー研修会で「思いやり」、「リーダーとしてできること」を考えていきます。また、昇降口にスローガンを掲示し、意識づけを図ります。

(10) 天真学園高等学校生徒会

スローガン **「因果応報 ～善悪の判断できてますか？～」**

自分が誰かに無視されたら、仲間はずれにされたら、どんな気持ちになるのか、また、それを誰かにしていいのか、当たり前の事なのにそれが判断できない人に伝わってほしいという願いを込めて作りました。一人ひとりが判断できるようになる事で、いじめ、非行がなくなるよう、生徒会では呼びかけていきたいと思っています。

(11) 学校法人天真林昌学園 酒田南高等学校生徒会

スローガン 「あたたかさ、優しさがあふれる学校へ」

酒田南高校には「天下和順」という建学の精神があり、災いがなく、人々が仲良く暮らすことなどの意味があります。今一度その精神を柱として「いじめや非行がゼロの学校」にしていけるようにスローガンを決めました。

宣言文は生徒手帳に記載し、毎年、生徒総会で宣言を確認するものとしています。

(12) 学校法人新庄学園 新庄東高等学校生徒会

スローガン 「気づいてる？ やっていいこと 悪いこと」

最近、「いじめ」が学校生活だけでなく、大人社会でもする人が年々増加してきています。このいじめをなくすためにはまず自分でやっていいことと悪いことを気づくことが重要だと思ったのでこのスローガンに決定した。

今後は昼の放送などでの呼びかけや、ポスター掲示をしていきたいと思います。

(13) 山形電波工業高等学校生徒会

スローガン 「貴方の手、きっとその思い届くから」

周りの人が見ているだけではなく、手を差し伸べることで、いじめがなくなると思い、このスローガンにしました。

(14) 基督教独立学園高等学校独立学園自治会

スローガン 「あなたの生き生きは私の生き生き」

本校は、全国から生徒が集い寮生活を行っている。その中で、多くの違った人々と共に生きることを日々努力している。あなたと私の関係をどうしたら、積極的に建設的なものにしていくことが可能なのかを考えつつ、このスローガンにしました。共に喜び共に悲しむということの中で、最も良く生かされる自分を各自が探求していくことを目指したい。

(15) 学校法人羽黒学園 羽黒高等学校生徒会

スローガン 「嫌な思い 抱え込まずに SOS」

生徒が周囲に助けを求めやすい環境を作りたい思いから。

いじめ等の未然防止に重点を置いて選定した。

全校へ周知し、視覚に訴える形で定着を図る。

(16) 学校法人天真林昌学園 和順館高等学校生徒会

スローガン 「天下和順 かけがえのないこの時を、和やかに乱れることなく。」

様々な背景や状況を抱え、通信制高校に入学してくる生徒。その一人ひとりの学校生活に対する思いは非常に強い。その思いや理想を実現させるために、学校生活を安心して送れる環境整備が不可欠である。前年度制定したこのスローガンを継続し、いじめや非行がなく誰もが安心して充実した学校生活を送れるように学校全体で取り組んでいく姿勢を様々な活動を通じて示して行く。